

災害を住民はどのように捉えているのか？

防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせしてほしい。
とにかく何も連絡なし。動けませんでした。（三条市民）

避難勧告などが全く無く、情報が少なく、どう行動をとっていいのか
分からなかった。（三条市民）

浸水が進んでも避難勧告がなく、避難できなかった。市の責任は重い。
（三条市民）

「平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査」フリーアンサーより

避難勧告が無かったから避難できなかった？

33

住民の過剰な情報依存体質・行政依存体質

行政

防災施設の整備・住民避難対策の推進

住民

過剰な行政依存・情報依存

- ・・・「行政が住民を災害から守ってくれる。」
- ・・・自らの命までも行政に委ねる
- ・災害時の住民の対応行動
 - ・・・行政からの指示待ち状態
 - 自らの判断で意思決定ができない

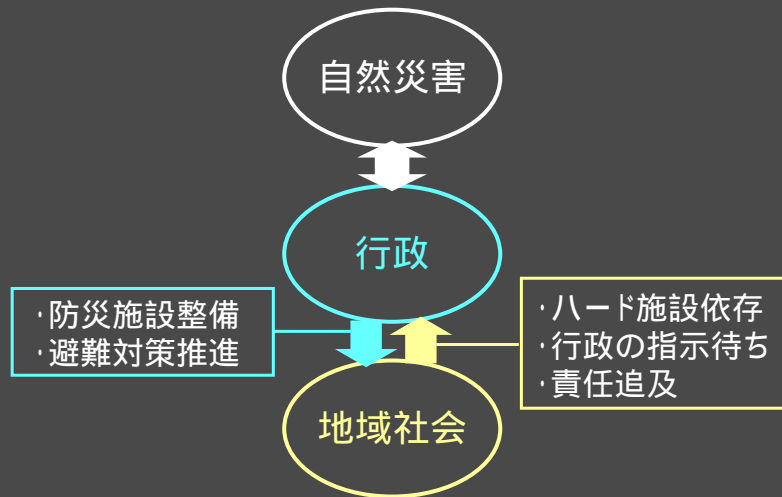
何が問題なのか

「自分の命を自分で守る」という根本的な認識の欠落
相手は自然、住民を災害から守りきれない行政の実態
さらなる情報伝達体制の整備が招く、さらなる依存

34

我が国の災害に関わる住民と行政の関係

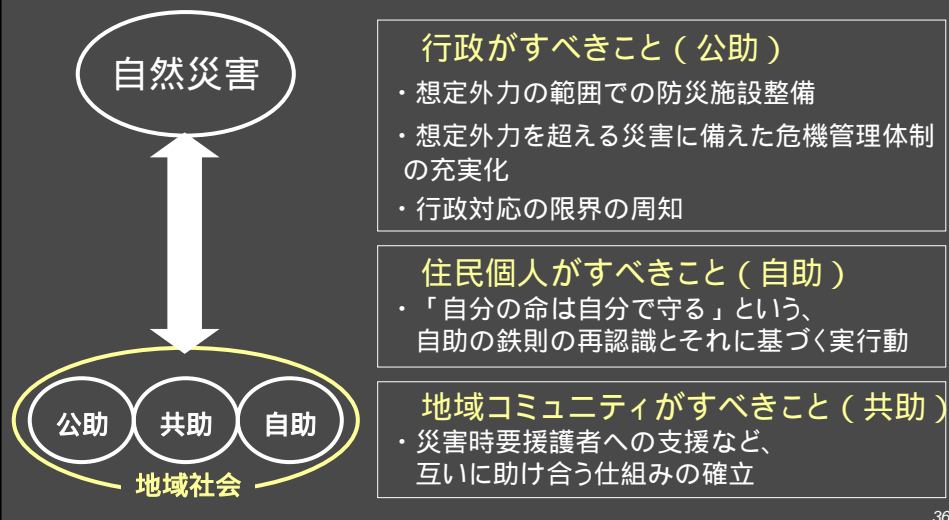
災害に対峙しているのはあくまで行政
住民はその庇護の下にいるという構造



35

地域防災力向上を目指して

自助 = 住民、共助 = 地域コミュニティ、公助 = 行政



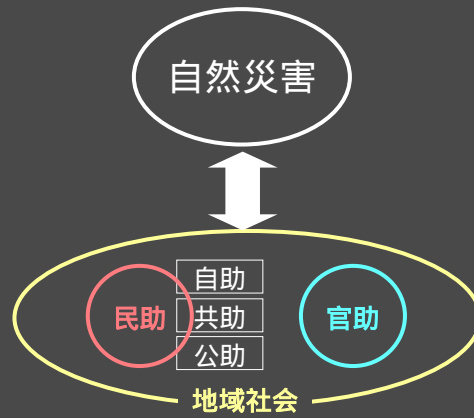
36

地域防災力向上を目指して これからの地域防災の考え方

住民 (= 民助) 行政 (= 官助)

民助の中の 自助・共助・公助

民助と官助が並列的に災害に立ち向かう社会の構築



37

地域防災力とは何か？

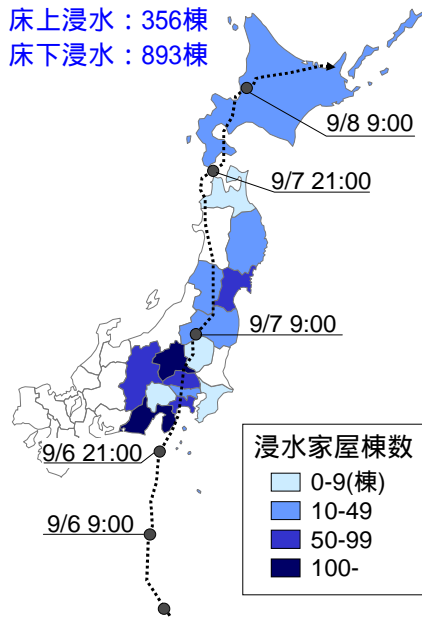
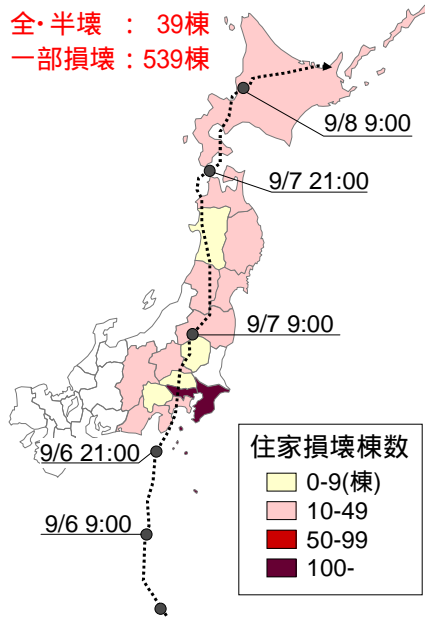
38

平成19年 台風9号

死者・行方不明者：3名

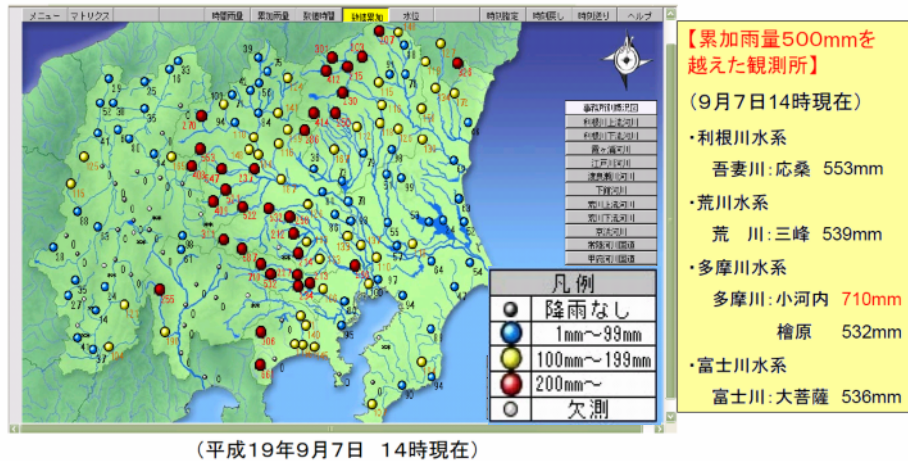
全・半壊：39棟
一部損壊：539棟

床上浸水：356棟
床下浸水：893棟

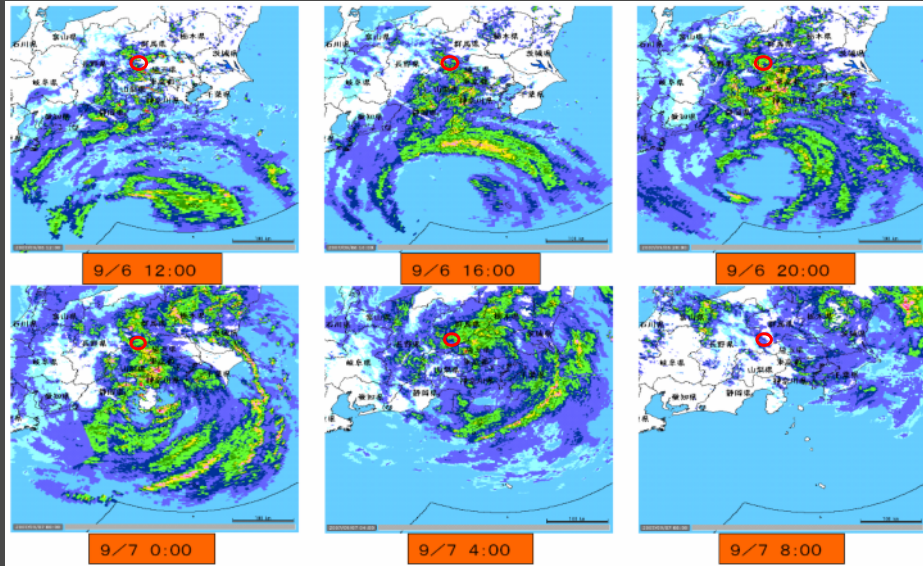


平成19年 台風9号 降雨概況

・台風9号の影響により関東地方整備局管内では、
山間部において降り始めからの**累加雨量が500mmを超過**



平成19年 台風9号 降雨概況



41

南牧村の集落が一時孤立状態に



大雨の影響で寸断された国道11号午後零時半ごろ、南牧村大崩落

台風9号猛威

50人、一時孤立 南牧の国道寸断
 南牧村大崩落では六日された。黒滝山、小瀬沢、夜から七日早朝にかけての住民約五十人が一時孤立。国道黒滝山小瀬沢沿い立した。この川から大量の土砂や石が流れ、道路が寸断。近々の神戸ひろさん(72)によると、四日前から五時ごろ、国道が土砂で覆われ、大量の水が流れているのに気づいたという。神戸さんは「五十年近く住んでいるが初めて」と話していた。

42

南牧村の被災状況



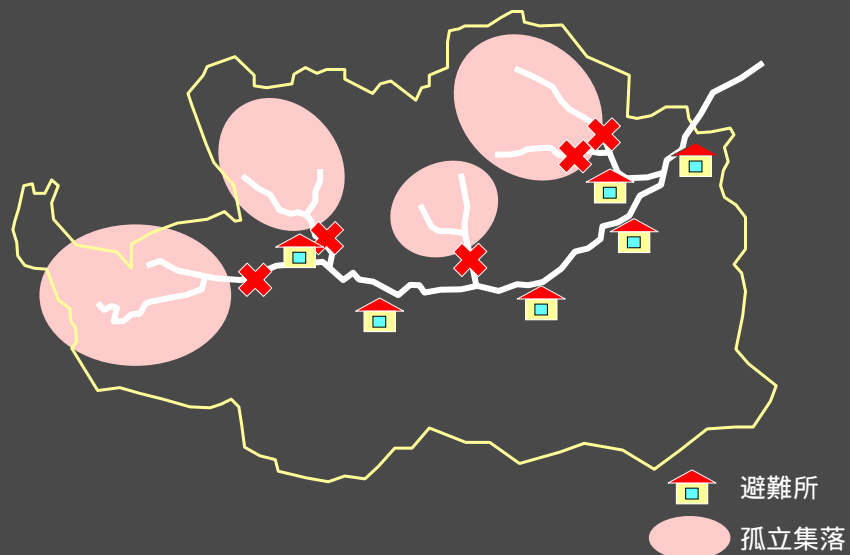
43

南牧村の被災状況



44

孤立化した南牧村の集落 活かされた密な地域コミュニティ



45

活かされた密な地域コミュニティ



ご近所のおじさんに沢からの浸水を防いでもらった

上に住むおじさんが車で助けに来てくれた



2007.10.3 NHK首都圏ネットニュース

46